

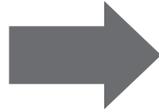
11月は児童虐待防止推進月間

そのけんか子どもに見せていませんか

夫婦げんかは子どもの心に外傷を与える心理的虐待にあたります。子どもがいる前で身に覚えはありませんか。



- 怒鳴り声
- 暴言・暴力
- 物を壊す音



- 不安や心配が大きくなる
- 自分は悪い子だと考える
- 自己肯定感が低くなる

さらに、心身・行動にもこんな影響が

心身

- 自分なんて必要ないと思う
- 不安な感情をコントロールできなくなる
- 頭痛・腹痛・吐き気などの身体症状が現れる

行動

- 友達とうまく遊べなくなる
- けんかや暴力が増える
- 学校・保育園に行きたがらない

将来的には、家庭内暴力、不登校、うつなどの原因になることも…

子育ては一人で抱え込まず、親自身がSOSを出すことが大切です。子育てやお子さん、家族の不安や悩みがありましたら、子育て健康課までご相談ください。

【問い合わせ先】子育て健康課 電話42-2111 (内線309)

こんにちは! 地域おこし協力隊です

市に移住し、ヨソモノ・ワカモノの斬新な視点で地域おこしに取り組む隊員たちが、市の魅力や日々の活動などを報告します。

宮田 真梨子 隊員

今年度17人の友人が青森に遊びに来てくれました。今回は私と県外在住の友人たちから見た、青森推しポイントを紹介します。

【空が広々夕焼けがきれい】

田舎って馬鹿にされてるじゃない、と言われるのですが、違いますよ！日本は国土の3分の2が森林であるため、ここまで平野な場所は珍しいのではないかと思います。そして首都圏に住んでいる人にとって、空のきわと地平線が見えることは超貴重なものです。特に夕日と岩木山は格別で、車を止めて眺めることも多々あります。

【魚が安い美味】

友人たちはスーパーの魚は基本的に生臭いものだと思っています。私は移住前、魚は高いし美味しくないさそこで、ほとんど購入していませんでした。つがる市民はお魚をよく食べますね。そして安い。居酒屋に行っても東京よりお刺身一切れが15倍くらい厚くて、すごく美味しいのです。私は移住後明らかに魚をよく食べるようになりましたが、東京の実家では先日2カ月ぶりにお刺身を買ったと話していました。みなさんのお魚生活はいかがですか？

【観光費が安い】

ベンセ湿原のニッコウキスゲ、鱒ヶ沢の菜の花、竜飛岬などすべてお金を払

わずに楽しめました。これは旅行者にとつて有難いことではあります。課題でもあると感じています。入場料も駐車場代もかからないのはショックングであり、会場整備など人件費が発生していると考えると、募金という形で「感謝の可視化」をしても良いのではないかと思うのです。私が鱒ヶ沢の菜の花を見たときに感じたのは「この美しい景色になにも返せない」という不甲斐なさでした。お金に変えられないものを守るために、微力ながらお金で支援したい。そんな気持ちの行き場所をつくれなものでしょうか。

生活に慣れてくると、分かることが増える一方、分からなくなること多くなります。

青森に来てくれる友人たちは新鮮な驚きと感動を与えてくれる、大切な存在です。目標は来年度までにあと20人連れてくることです！みんなに青森を広めてもらうぞ！



高校時代の友人たち。ワカサギ釣りにも興味ありとのこと

バス市親善訪問・市民同士の絆と愛情

オリビア・スナイダー

つがる市には高山小公園のチェスボロー号記念碑、愛心寺の船員のお墓など、姉妹都市米国メーン州バス市とのつながりを表すシンボルが数々あります。今年はバス市に両市の絆を示すシンボルとして、鳥居と日本庭園が設置されました。鳥居の完成と両市の交流の歴史を祝うセレモニーにつがる市長、つがる市議会議長、つがる市姉妹都市協会長、地域創生課長、地域創生課係長、そして私を含めた6人が招待され、私にとって初めてのバス市訪問となりました。

過去のバス市との交流写真を何回も見たことはありましたが、実際行ってみると想像以上にきれいな街でした。バス市が誇る有名な19世紀の建築のビジュアルがとてもオシャレで、雰囲気の良いカフェ、レストラン、服屋さんなどがたくさんありました。ダウンタウンエリアからは巨大なケネック川が見えて、毎日晴れた天気にも恵まれたなかな素敵な景色を眺めることができました。海が近いため、周辺のレストランで食べたロブスターや牡蠣の料理も最高においしかったです。

食と景色はもちろん良かったです。一番印象に残ったことはバス市民の優しさです。スーツを着て街中を歩き回っている私たちに、通りかかった多くの市民は「鳥居のセレモニーに来ているの？」「バス市へようこそ」「メーン州にいる時間を楽しんでね」と声を掛けてくれました。皆さんとてもフレンドリーでニコニコしていたので、通訳などの役目で少し緊張していた私も落ち着きました。

セレモニーでは、メーン州上院議員エロイーズ・ヴィテリさんが「両市の関係は悲劇から

始まりでしたが、その悲劇から生まれた人間愛から発展してきました。この鳥居は、その不滅の勇氣と愛の象徴としてここに立っています」とスピーチしました。この言葉は大事なメッセージとして私の心に響きました。普段は交流事業を仕事の面からみているですが、セレモニーに参加していた子どもや大人の笑顔と感動を見てみると、草の根レベルの友情の大事さを思い出しました。この交流を通して国際交流員の役割は、1万2000キロも離れている人々の心をつなぐ大切な歴史を継承し関係を続ける架け橋になることだと分かりました。

他の国際交流員が担当している姉妹都市交流にはさまざまな始まりがありますが、バス市とつがる市の間には本当に特殊で素晴らしいものだと思います。国、文化、言語が違っても、両市の市民の親切さは変わらないです。皆さんもいつかバス市に行ってみてください！



バス市の鳥居の前で！

国際交流フェア開催!

11月26日(日)12時~16時
松の館交流ホール

県内の国際交流員(CIR)と外国語指導助手(ALT)が世界の料理をふるまうほか、海外のお菓子が当たるビンゴ大会やクリスマスプレゼント交換、各種クラフト製作コーナーなど内容が盛りだくさん。夏に実施したバス市訪問団受け入れ事業の様子もご紹介します。

【問い合わせ先】 つがる市姉妹都市協会事務局(地域創生課内) 電話42-2111(内線351)



昨年の様子(クリスマスプレゼント交換)

広 告

法律相談は弁護士会へ

青森県弁護士会所属の地元の弁護士事務所が迅速に受けられます。

受付時間/平日午前9時から午後5時
相談料/30分 5,000円(税別)

※但し法テラスの扶助が利用できる場合無料

午前中に電話→当日15時~17時相談可能
それ以外の場合→弁護士を紹介します!

今すぐあなたの
助けになりたい

お申込・お問合せは 青森県弁護士会 弘前支部まで (TEL.0172-33-7834)

広 告

国家資格塗装職人のお店 三栄塗装工業有限会社

—般建設業 県知事許可(般-27)第017671号

担当 三上(一級塗装技能士/五所川原塗装工業会会員)
WBアート(ウォールバリア)多彩仕上工法 施工認定店

職人から独立、創業25年目を迎えました。
これからも地域のみなさまに愛される塗装店を目指して参ります。

屋根・外壁のお見積り・現地調査無料、まずはお気軽にご相談ください。



住所/つがる市木造林宮津12番地3 登録番号/T8420002012423
☎ 0173-42-3818 ☎ 090-7067-5628 ✉ sanei.p@nifty.com